



いつも にこにこ 笑顔がいいねっ!!!

相・福

いきいき 便り



2019

10月

No. 67



9月生まれの生き生きさん



【お名前】

吉田 フサ子 さん

【生年月日】

昭和8年9月20日

86歳

【お住まい】

相良

【一言】

●生き生きメンバー3年になります
皆さんこれからもヨロシク!



おたんじょうび
おめでとう!!



新しいおともだち



生き生きクラブ



9月から新しい「生き生き仲間」が
ふえました

杉山 静枝さん

大正14年8月31日 生

福岡区在住 です

どうか皆さん宜しくお願いします

吉田フサ子さんが生まれた昭和8年9月には

この頃流行となったコリントゲームの為、子供客を奪われた紙芝居屋が、コリントゲーム商の店主に暴行するといった事件が起こります。

【コリントゲーム】・・・とは

フィンランドのユシラ社が、このゲームを発売したのは1925年のことだそうです。発売当時は、まったく新しい発想のおもちゃとして、とくにイギリスで人気を博したそうです。

日本には小林脳行（現小林製薬）が紹介したのですが、[小林]を[コリン]と読み違えて紹介し[コリン]→[コリントゲーム]となったようです。

それがやがて形を変え……そうです!今やジャパニーズカジノとまで言われるパチンコのルーツも、このコリントゲームだったのです。

94年もの間、細部の変更はあるものの、基本的には原型を変えずに、今も売られ続けているところに、デザインの力を感じます。





参加者数
対象者：22名
協力員：18名

令和元年度の活動記録(9月)



第11回(9月2日) ◎公民館まつり用作品作り

みんなで笑い文字に挑戦しました



きれいに出来ましたね



さあ、始めましょう!!

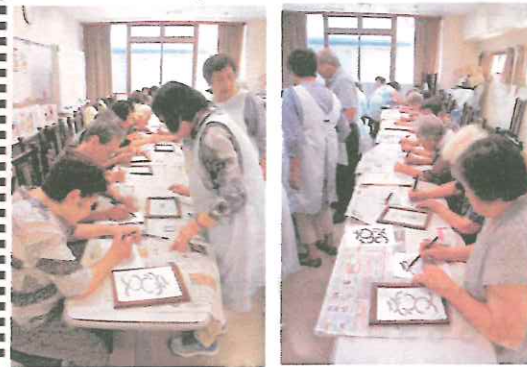
- 今日は来る10月13日の相良区公民館まつりに出品する作品作りに励みました。
- 笑い文字普及協会未公認相良支部長の西尾会長の指導により生き生きクラブ全員一生懸命がんばりました。
- 人間は、本能的に笑顔が好きですのでこの笑い文字を通じて笑顔・感謝・喜びの溢れた「生き生きクラブ」になればうれしいですね。



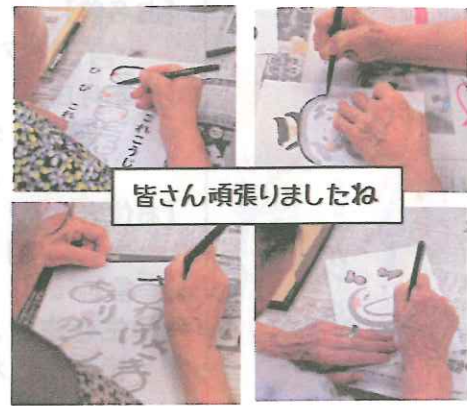
◎本日のおやつ



牛乳寒天にフルーツ乗せました



皆さん頑張りましたね



第12回(9月9日) ◎手話で合唱「七つの子」

公民館まつりにそなえて手話の特訓をしました

- 今日は作品作りの予定でしたが、前回でほとんど完成しましたので、予定を変更して、手話合唱の新しいレパートリー「七つの子」をみんなで練習しました。
- 発表の場である相良区公民館まつりは10月13日ですが、それまでの間たぶん練習の機会はないのでは?・・・と、いうことで今日は皆さん真剣な表情(?)で練習に熱が入っていました。



参加者数
対象者：24名
協力員：14名



さあて「腰」をすえて やりまいか



か~5~す~・・・



「富士の山」の練習も忘れずに



ハイ!拍手-----

◎本日のおやつ



お汁粉



●寒露とは

暦の上で寒露とは、「二十四節気」の17番目にあたる節気です。二十四節気とは1年を24に分けたもので、春・夏・秋・冬のそれぞれの季節をさらに6等分にしたものと考えるとよいでしょう。ちなみに今年(2019年)は10月8日です。このほかに、期間としての意味もあり、この日から、次の節気の霜降前日(10月22日)までです。

●言葉としては

寒露とは、晩夏から初秋にかけて野草に宿る冷たい露のこと。朝露が冷たい外気に晒されて凍ると霜が下りますが、その直前の時期、もしくはその露のことを寒露と言います。

秋の長雨が終わり、本格的な秋の始まりになります。農家では五穀の収穫もたけなわで、繁忙を極めます。

●季節の変わり目

この頃になると、日中は夏らしい暑さは影を潜め過ごしやすい日々が続くようになりますが、その反面朝晩は冷え込むようになり、紅葉が次第に濃くなり、ガンやツグミ、オオハクチョウなどの渡り鳥が北の地域から日本へ飛来してくるようになり、菊の花が咲き、こおろぎなどが鳴き始めると言われています。

●空気が澄んできます

また、大気の状態が安定して空気が澄んで秋晴れの日が多くなります。夜には月も美しく輝いて見えます。今年は10月13日に中秋の名月(十五夜)の次に美しいと言われている十三夜が見られます。(天気が良ければ)

寒露の頃になったら、空を見上げてみてはいかがでしょうか。これまでと違った、秋の清々しさと趣を感じる空に出会えるはずで

みなそこ

水底を水の流るる寒露かな 草間時彦



笑顔はいいね

福岡区 健康保健委員 増田光男

最近のニュースは米中の対立・日韓関係の悪化・そしてあおり運転等暗い話題が多い中スポーツに関しては心躍る明るい情報が伝えられる。

特に8月に行われた全英女子オープンゴルフで昨年プロテスト合格したばかりの二十歳の渋野日向子が優勝した出来事である。

イギリスではスマイル・シンデレラと言われ脚光を浴び一躍時の人となり、大いに人気を博したのはゴルフ好きの私にとっては最も明るい情報である。

三日目を終え、「もしかすると・・・」との期待から真夜中のテレビに釘付けになった。

アメリカのテレビ放送も、お菓子もぐもぐ・笑顔でプレーするチャーミングな姿を連日放映し、その様子に海外のファンも魅了され、優勝日は近年最高視聴率を記録したと伝えた。

帰国後のゴルフ場は「渋子スマイル」を一目見ようと応援・観客の人で溢れた。



笑顔はどんな処でも人を和ませる事を改めて知らされたと思う。

生き生きクラブに足を運び「お世話になります。ここへ来るのが楽しみで」と「ありがとう・楽しかった」と笑顔で帰りの挨拶、サロン活動内の『笑顔がいいねっ！』の光景である。

相良でんでら史話 十六

《 蕉園渉筆 その十二 》

大澤寺十五代住職 今井一光



蕉園渉筆本文 9 送 蝗



原文

諸縣送蝗、用鐘鼓、近時少年輩競求大鐘、棚草村少年新造之、大過於他方、里正招而視之、少年誇而曰、諸縣未有焉、里正曰、突然也、如汝愚亦未有焉、奪而不与

読み下し

諸(この)縣では蝗を送る(虫送りに)、鐘鼓を用いる、近時、若者の輩は競って大鐘を求む、棚草村の少年新たに之れを造る、大きさは他方より過ぎる、里正(村長)招んで之を視る、少年誇りて曰く、諸縣有ること無し焉、里正曰く、実に然り也、汝如き愚も亦有ること無し焉、奪って与えず

「蝗」は「蝗害」なる言葉がありますがウンカやイナゴなどの稲を喰う虫のこと。今でこそ「肥料と農薬」の効率的散布によってコメの収穫は安定的になりましたが水稲耕作が始まって以来長きにわたってその「蝗害」に悩まされつづけた私たちご先祖様の歴史がありました。また人々はその虫の脅威に他の色々な凶事と結びつけ時に人の行いの因果としてそれを一連の忌避すべきものとして考えました。それが「送蝗」(虫送り)という祭りへ祈りとしての変化を遂げていきます。蕉園渉筆の棚草村の虫送りの件は、「鐘鼓」を打ち鳴らして虫を退散させようという祭りがイメージできますが、ある若者の突飛で奇をてらったその行為(大きすぎる鐘)「今の若いものは…」風の呆れ顔が伺えます。村長がそれを奪ったのはそんな(何事も大きい方がイイと思いこむ)阿呆に持たせればやかましい事この上ないと思ったからでしょう。



虫送り

『平家物語』でも知られる平安時代末期の平氏武将・斎藤実盛は、戦いのさなか、乗っていた馬が田の稲株につまずいて倒れたところを源氏方の敵兵に付け込まれ、討ち取られてしまったため、その恨みゆえに稲虫(稲につく害虫)と化して稲を食い荒らすようになったという言い伝えが古くから存在しました。そのため、稲虫(特にウンカ)は「実盛虫(さねもりむし)」とも呼ばれ、主として西日本では、実盛の霊を鎮めて稲虫を退散させるという由来を伝え、この種の「虫送り」を指して「実盛送り(さねもりおくり)」または「実盛祭(さねもりまつり)」と呼んでいます。

かつては全国各地に数多く見られましたが、過疎化、少子高齢化、米価の下落などによる農業の衰退と、その結果としての担い手不足も大きく影響し、次第に行わない地域が多くなっています。

狩野川に 沿うてのぼるや 虫送 (高浜虚子)

これからの いきいき予定

- 10月13日：相良区公民館まつり
- 10月21日：歴史教室「でんでら史話」
- 11月11日：グランドゴルフ大会



皆様のご意見や思い出話をお待ちしております

相・福 いきいきだより
笑顔がいいねっ！！
2019年10月8日号
(通算第67号)
発行
相良・福岡 生き生きクラブ